

感染性胃腸炎（ノロウイルスなど）が増加しています！

感染性胃腸炎とは？

主にウイルスなどを原因とする胃腸炎の総称です。「ノロウイルス」「ロタウイルス」などがあります。ノロウイルスは秋～春先に発症者が多くなる冬型の胃腸炎、食中毒の原因です。嘔吐、下痢等の急性胃腸炎症状を起こしますが、数日の経過で自然に回復します。乳児や高齢者は嘔吐を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意しましょう。感染予防を実施し、かからない・広げないようにしましょう。

《ノロウイルスの特徴》

- ①少量のウイルスで感染する
- ②ワクチンや治療薬がない
※脱水症状がひどい場合には点滴等の対症療法を行う
- ③アルコール消毒は効果的でない

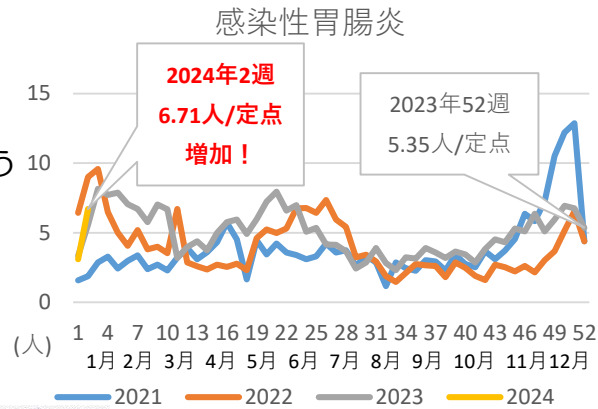
《感染経路》

食品からの感染

- ・感染した人が調理などをして汚染された食品
- ・ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など

ヒトからヒトへの感染

- ・患者の便や吐物からの二次感染
- ・家庭や施設内などでの飛沫などによる感染



| | |
|------|--|
| 潜伏期間 | 感染から発症まで24～48時間 |
| 症状 | 吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ※症状が軽くなっても1週間～1か月程度は便にウイルスが排泄されます。 |

《感染予防》

◎食べるときや調理の時の注意

1. 2枚貝（カキやアサリなど）の十分な加熱調理（85～90℃で90秒以上）
2. 生鮮食品（野菜、果物など）の十分な洗浄

石けんと流水で
30秒以上かけて
洗おう！

◎手洗い

特にトイレの後、調理を行う際、食事前、嘔吐物等の処理後、手袋を外した後など。手洗い後は個人用タオルかペーパータオルを使用しましょう。



◎健康管理

症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしないようにしましょう。

◎消毒

嘔吐物などの処理には、塩素系消毒液や塩素系漂白剤を使用して消毒をしましょう。（アルコール消毒は効果的ではありません）
ノロウイルスは乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することもあるので、消毒する時は使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用して消毒や処理をしましょう。
※スプレー式の消毒はウイルスが飛び散って感染をひろげるので、推奨しません。



参考：厚生労働省 感染性胃腸炎（特にノロウイルス）について